

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2024年1月23日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

東進 能登半島地震被災者特別支援制度**石川県内の高校生への学習支援を実施いたします****2講座分の授業料および入学金免除(計18.7万円相当)、東進生宿泊費補助**

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様と、そのご家族・関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

東進ハイスクール・東進衛星予備校などを運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、能登半島地震で被災された高校生を支援する被災者特別支援制度を以下の通り設置いたしました。

東進 能登半島地震被災者特別支援制度**A: 石川県内の高校生への学習支援**

東進への入学金、授業料の免除(18万7千円相当)

(1)被災した高校生・中学生に対して、東進への入学金(3.3万円)および通期2講座(90分授業×40回分・15.4万円相当)を無料とします。申込期限 2024年3月31日。

(2)東進の校舎に通学できない高校生は、東進ハイスクール 在宅受講コース(自宅学習)にて、上記(1)と同条件で学習することができます。

B: 東進生への学習支援

ホテル宿泊費の補助 他

(1)避難生活を余儀なくされ、学習環境確保のためにホテルなどに宿泊する東進生の宿泊費用を補助します。受験生は国立二次試験終了まで。高2生以下は2024年2月末まで。

(2)2024年度生のうち被災した東進生の通期2講座(90分授業×40回分・15.4万円相当)を無料とします。申込期限は2024年3月31日。

東進 能登半島地震被災者特別支援制度ウェブサイト https://www.toshin.com/noto_shien

※ウェブサイトの申込フォームより申込・お問い合わせください。

石川県内に8校舎の東進衛星予備校を構え、地域の皆様と共に歩んできた民間教育機関である当社がなすべきことは「地域の高校生たちがしっかりと勉強に取り組める体制を整える」ことであると考えております。逆境の中、若者が学びを止めず将来のために勉学に励むことは、地域再生の一步であり、石川県の将来にとっても大いなる希望となると信じております。東進 能登半島地震被災者特別支援制度が、被災された高校生の学習環境の復旧・向上の一助になれば幸いです。

【石川県の東進校舎一覧】

東進衛星予備校 東金沢校	076-251-8511	石川県金沢市小坂町西109-1
東進衛星予備校 金沢本町校	076-223-6010	石川県金沢市昭和町16-1 ヴィサージュ2F
東進衛星予備校 金沢有松校	076-241-3768	石川県金沢市有松2丁目3-20
東進衛星予備校 金沢南校	076-280-0155	石川県金沢市有松5-8-28
東進衛星予備校 小松駅前校	0761-25-4710	石川県小松市土居原町369
東進衛星予備校 白山校	076-276-1133	石川県白山市西新町1133 ポポロ松任5F
東進衛星予備校 松任駅前校	076-274-1706	石川県白山市西新町220-1
東進衛星予備校 七尾駅前校	0767-57-5222	石川県七尾市御祓町ホ6-13 3F

東進ハイスクール 在宅受講コース(自宅学習) 0120-531-104

【株式会社ナガセについて】

1976年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェア NO.1 の『予習シリーズ』と最新の AI 学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進ハイスクール中学部」「東進中学 NET」、私大総合型・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。2022年9月には、幼児～中学生対象の世界標準のプログラミング学習「東進 CODE MONKEY」を新たに開講しました。

また、東京五輪個人メドレー2冠の大橋悠依選手をはじめ、のべ47名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com